

追加穂肥とこまめな水管理で品質確保

1 生育概況(コシヒカリ 7/30現在)

現在の生育(指標値比)

平坦地	草丈:長い (112%)	茎数:多い (114%)	葉数:早い (+1.1)	葉色:薄い (SPAD値-2.2)
中山間地	草丈:やや長い (108%)	茎数:多い (110%)	葉数:早い (+0.9)	葉色:薄い (SPAD値-2.3)

○前回調査に続き葉色は低下傾向です。今後も高温が続くと予報されており、栄養凋落が心配されます。
葉色が薄い(SPAD値で31以下)場合には、出穂期3日前に窒素成分で1kg/10a以内の穂肥を施用しましょう。

2 調査結果 (普及センター、JA調査ほ)

(1)コシヒカリ

場所	標高(m)	田植(月日)	草丈(cm)			茎数(本/m ²)			葉数(葉)			葉色(SPAD)			備考		
			本年	前年比	指標比	本年	前年比	指標比	本年	前年差	指標差	本年	前年差	指標差			
平坦地	今熊(浦川原)	14	5/12	95	100%	112%	444	株当21.1	110%	120%	14.0	+0.9	+1.0	29.3	-2.4	-3.2	8/2頃出穂見込み
	飯室(浦川原)	13	5/16	94	91%	111%	400	株当25.3	112%	108%	14.2	+1.1	+1.2	31.3	+0.3	-1.2	8/4頃出穂見込み
	平均			95	96%	112%	422	23.2	111%	114%	14.1	+1.0	+1.1	30.3	-1.1	-2.2	
宮口(牧)	71	5/21	86	93%	101%	405	株当20.7	120%	109%	13.9	+0.1	+0.9	32.3	-0.4	-0.2	全量基肥肥料8/5頃出穂見込み	
中山間地	和田(安塚)	133	5/18	93	82%	109%	454	株当22.8	109%	123%	13.8	-0.2	+0.8	31.6	-3.6	-0.9	8/3頃出穂見込み
	大島(大島)	152	5/16	99	92%	116%	419	株当21.5	103%	113%	13.8	+0.7	+0.8	27.0	-5.9	-5.5	全量基肥肥料8/2頃出穂見込み
	菖蒲(大島)	337	5/26	92	88%	108%	379	株当18.3	77%	102%	14.0	+1.0	+1.0	29.7	-2.8	-2.8	8/8頃出穂見込み
	高尾(牧)	340	5/19	83	-	98%	378	株当21.6	-	102%	13.9	-	+0.9	32.3	-	-0.2	8/5頃出穂見込み
平均			92	85%	108%	408	21.1	93%	110%	13.9	+0.5	+0.9	30.2	-3.3	-2.3		

(2)こしいぶき

場所	標高(m)	田植(月日)	草丈(cm)			茎数(本/m ²)			葉数(葉)			葉色(SPAD)					
			本年	前年比	指標比	本年	前年比	指標比	本年	前年差	指標差	本年	前年差	指標差			
平坦地	長走(浦川原)	23	5/17	93	97%	116%	342	株当18.3	113%	95%	13.0	+0.6	±0.0	37.8	+6.7	+2.8	7/25出穂期

(3)つきあかり

場所	標高(m)	田植(月日)	草丈(cm)			茎数(本/m ²)			葉数(葉)			葉色(SPAD)			備考		
			本年	前年比	指標比	本年	前年比	指標比	本年	前年差	指標差	本年	前年差	指標差			
中山間地	高尾(牧)	285	5/21	100	91%	143%	288	株当11.6	91%	90%	12.4	-0.6	-0.6	36.2	-1.3	-3.8	全量基肥肥料7/27出穂期

3 今後の管理のポイント

- コシヒカリの出穂期は平年より1日程度遅く、前年より2日程度遅い見込みです。
- 2回目の穂肥を施用していない場合は確実に施用**してください。
- コシヒカリの葉色が出穂期までに以下のめやすを下回る場合は、栄養凋落が懸念されることから、品質を維持するために追加穂肥を施用**してください。
(出穂期3日前の葉色がSPAD値で31以下、葉色板で4未満の場合、窒素成分で出穂期3日前に1.0kg/10a以内を施用)
- 全量基肥肥料を使用した場合でも葉色が低下し、出穂期の葉色がめやすを下回ると予想される場合には、追加穂肥を実施**しましょう。(コシヒカリのめやす: SPAD値で32~33、葉色板で4.4)
- 出穂の12日前頃から出穂・開花期頃は最も水が必要な時期です。用水を有効に活用するためにも、ほ場の水分状態に応じたこまめな水管理で稲体の活力低下や下葉の枯れ上りを防いでください。
(高温下での長期湛水は根腐れに注意)
- 出穂後は飽水管理を継続し、**土が湿っていても溝や足跡に水が無い場合は、直ちにかん水**しましょう。
- 異常高温・フェーン時は速やかに湛水し、稲体から急激な蒸散による障害を防止しましょう。
- 例年同様カメムシ類が多く発生しています。イネ科雑草が結実しない3週間程度の間隔で農道・畦畔の草刈りを行い、本田防除も徹底しましょう。
- 暑い日が続きます。農作業時は水分補給や休憩時間を十分に確保するなどの熱中症予防と健康管理に十分注意**してください。